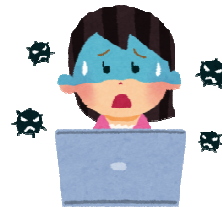


身近に迫る、見えない危険

私たちの周りはウイルスだらけ？！

今年5月、世界中で猛威をふるった身代金要求型のコンピューターウイルス「WannaCry(ワナ・クライ)」は、日本国内でも大手電機メーカーや鉄道会社の社内システムへの感染が報じられ、大きな話題となりました。コンピューターウイルスは年々進化(凶悪化)しており、ひとたび感染すると甚大な被害をもたらします。コンピューターウイルスから身を守る基本対策を、改めて確認してみましょう。



ウイルスは、こんな所から侵入してくる！

> 電子メールから

最も身近なものは、Eメールに添付されたファイルを開くことで感染するウイルスです。「ご請求書」「お疲れ様です」などといった、クリックしてしまいそうになる添付ファイルには注意してください。「見知らぬ人から送られてきたメールの添付ファイルは、安易に開かないこと」が大前提です！

> Webページから

コンピューターウイルスが組み込まれている、悪質なWebサイトは以前からありました。近年は、セキュリティ対策の弱いWebサイトが乗っ取られ、ウイルス配布元として改ざんされるケースが増えています。改ざんされたサイトかどうかはすぐに見分けがつくものではなく、これと言った予防策が無いのが実情です。

> スマートフォン向けの無料アプリから

無料で提供されているアプリの中には、最初からウイルス(マルウェア)が組み込まれた、悪意あるものがあります。インストールすると、電話帳のデータやSNSなどの各種ログイン情報、カード情報が盗まれる事があります。アプリは審査をしっかりと行っている信用のある提供元のものを使い、便利さでも、無料アプリは安易にインストールしないことです。



有名なコンピューターウイルス
「トロイの木馬」



コンピューターウイルスの多くは、感染したPCを踏み台にし、増殖・拡散する能力を備えています。前述の「WannaCry」も、Windows®の脆弱性(プログラム上の弱点)をついたウイルスで、1台のPCを感染源としてネットワーク上の他のPCに感染を広げたことから、爆発的な流行となりました。



近年被害が頻発する、身代金要求型ウイルス(ランサムウェア)の手口

- ・ PC上のファイルが書き換えられ、一切利用できなくなる
 - ・ 「復旧するために」と身代金を要求してくる
 - ・ 感染源としてウイルス拡散に利用される
- 一度感染すると、修復できる保証はありません。
サイバー犯罪者に、ファイル復元への協力を期待することはできないからです。

ウイルス感染しないための予防と対策！

PCのOSやウイルス対策ソフトをアップデートし、常に最新の状態を保ちましょう。
万が一、PCの動作が異常に重い、ファイル名が書き換えられた等、ウイルス感染かも…？
と思ったら、即刻LANケーブルを抜き、職場のネットワークやインターネットから遮断・
更なる被害の拡散を防ぎましょう。
また、最悪のケースを想定し日頃からハードディスクのデータのバックアップもお忘れなく！

Free に潜む危険 ……「野良Wi-Fi」にご注意！

空港やカフェで、提供される事が多いWi-Fiの無料スポット。便利さの影で、通信内容が傍受される危険性があることをご存じでしょうか？施設や店舗の事業者が設置した公衆Wi-Fiに紛れて、身元不明の怪しいFree Wi-Fiの電波[通称:野良Wi-Fi(のら ワイファイ)]が飛んでいることがあります。野良Wi-Fiは、通信を傍受して個人情報を盗むなどの悪意を持って設置されている場合があるので、接続自体に危険性があります。また、空港、コーヒーショップ等の公式Wi-Fiであれば安心…とも言いきれません。悪意のあるハッカーが、電波の届く範囲で通信内容を傍受するために狙っている場合があるからです。

つい先日、研究所スタッフがアジアの某空港にて、スマホをFreeのWi-Fiに繋げたところ送信元不明の「Information」メールがたて続けに届くという恐怖を体験しました。彼女は、Wi-Fiへの接続を即座に遮断し、メールも削除したそうです。

ネットワークに端末を接続することで、端末内の情報を盗み取られる危険性を肌で感じる出来事ですが、日本国内においても、Wi-Fiの無料スポットでは会員サイトへのログインやクレジットカード情報の入力、メール送受信は避け、契約した通信キャリアなどの、暗号化されたWi-Fi環境で行うようにしましょう。



ただより怖いものはありません！



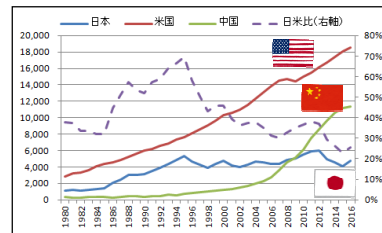
増加する訪日外国人や、2020年の東京オリンピックに向けて、無料の公衆Wi-Fiスポットの拡大が見込まれています。そうしたユーザーの便利・手軽さに乗じた、悪質なウイルスや、脆弱性をついたサイバー攻撃が後を絶ちません。ウイルス対策もインフルエンザの予防と同じ。身体を冷やさない、うがいをする…予防法は決してひとつではありません。正しい知識をもって、しっかり対策をしていきましょう。(ITマーケティング研究所 澤登 良子)

日本経済の失われた25年

バブル景気前、まだ高度経済成長の余韻が残る1979年、ハーバード大の社会学者ヴォーゲル教授は、著書「Japan as No.1」の中で、戦後の復興から驚異的な発展を導いた日本型経営を賞賛し、いずれ日本の時代がくると予言しました。1980年代、ヴォーゲル教授の予言どおり日本経済は成長を続け、US\$ベースの名目GDPは、1995年にはアメリカの70%にまで迫ります。しかし、バブル経済崩壊をきっかけに長期停滞期に入り、以降25年間、日本は先進国で唯一の低成長が続くことになります。

IMF発表の2015年の各国GDPは、アメリカが18兆367億ドルでダントツの世界一
日本は4兆1242億ドルで、中国に次ぐ世界第3位の経済規模

日本とは対照的に、アメリカ経済はリーマンショックなどの深刻な経済危機を経験しながらも力強い成長を続け、今や名目GDPで日本の4倍（対米国比25%）に達しました。なぜ、ここまで大きな差が生じたのでしょうか。



IMFデータを元に当社作成

得意な人に任せるアメリカ人、苦手なことも自分でやる日本人

経済がグローバル化する中で、日本経済だけが低成長に喘ぐ要因のひとつに、日本人特有の性質があると筆者は考えます。その性質とは、**日本人は「プロ(他人)」に任せることがとても苦手**ということ。小さいことのように見えますが、文化・国民性は、教育、ビジネス、消費など全ての活動の基礎となっているため、普段意識することもないような文化的差異が、国家のスケールで見るととても大きな差を生み出します。

アメリカでは、人口比で弁護士、会計士など職業的専門家の数が多く、社会にそれだけ専門家に物事を委ねるニーズがあることを示しています。特定分野の専門知識に基づき助言を行うアドバイザーやコンサルタントといった専門職も、圧倒的に多いです。「**専門外のことは専門家に任せるべき**」という価値感が浸透している証左でしょう。



一世を風靡した
Japan as No.1
1979年TBSブリタニカ

自分の労力を安く見積もってしまう



苦手なことでも自分でやってしまう国民性に節約志向も後押しして、日本にもDIYがすっかり定着しました。しかし、DIYを節約手段と捉える時、無意識に自分自身（または家族）の人件費を0で見積もってしまっています。専門的な知識を持たない人が、下調べや部材集め、実作業に何時間もかけて作業した結果、プロが施工した場合と比較して**質の高い結果が得られるケースは多くない**でしょう。専門工具を揃え、技術・経験が豊富なプロにさっさと任せて、自分は**もっと得意なことにリソース(時間・労力)を当てるほうが、合理的(賢明)です**。

素人作業で粗悪な結果になってしまったり、かえって高くついたというような経験を持っている人も多いでしょう。このように、専門家に任せず何でも自分でやろうとすることは、マクロ的には非効率・不経済といえます。さらに専門家へ依頼されるべき外部需要を殺してしまうことも計算に入れると、不経済性は明白です。

「専門性の追求と分業」は、消費を生み出すエンジン

現代人は、生活を取り巻くほぼすべてのモノ・コトを自分の手で賄うことはできません。有史以来の科学技術、経済発展の歴史に鑑みれば、「分業」と「専門性の追求」が経済活動を活性化し、経済社会を発展させることが明らかです。しかし、日本では「他人に任せず自分でやる」文化がいまだに根強く、企業においても従業員が、幅広い業務を抱えて忙殺される状況が生じがちです。「**自分より得意な誰かに任せる**」ことができず、結果的に非効率な作業を繰り返すと消費も雇用も潰れ、経済は縮小します。「**苦手なことは得意な誰かに任せて、自分は得意な分野で努力する**」。日本が再び国家として繁栄し、成長軌道に乗るためにはこの価値感の変革が必要です。この変革こそが、労働の質を高め、生産性を向上させるカギとなるでしょう。(や)



今月のお客様ホームページ紹介



日本一の規模を誇るいちご狩り園を持つ「ジャパン・ベリー」様。こだわりのいちご加工品は、お土産としても大変好評いただいています。

ちょっと贅沢なティータイムのお供にいかがでしょうか。

農事組合法人ジャパン・ベリー
静岡県藤枝市青南町2-5-1
電話番号：054-636-5405
<http://www.ichigo-shop.com/>

ホームページのご相談は

提供実績
2.5万件



アイ・モバイルまで

当社(アイ・モバイル株式会社)ITマーケティング研究所は、ホームページを通じてお客様のビジネスを支援し、成功していただくための活動を行っております。

ご感想やご意見は下記メールアドレスまでお願いします。
marketing-pr@imobile.co.jp



発行：アイ・モバイル株式会社

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル1F
TEL：0120-171-060 FAX：0120-937-255
営業時間 9:00～18:00 (土日、祝日、年末年始を除く)
URL：<http://www.imobile.co.jp/>

プレゼントキャンペーン

いちご狩り園「ジャパン・ベリー」様、自慢のイチゴジャムを抽選で5名様にプレゼント！左記QRコードより、どなたでもご応募いただけます！（締切7月末）

